

【概要】

1. 新規採用薬 : 該当なし
外来限定採用 : ロゼックスゲル
臨時採用(患者限定)
2. 供給
3. 採用変更
4. 添付文書改訂
5. 添付資料

1. 新規採用

①院内採用

該当なし

②外来患者限定採用

がん性皮膚潰瘍臭改善薬 酒さ治療薬
ロゼックスゲル 0.75% 71.6 円/g

【組成】 1g 中 日局 メトロニダゾール 7.5mg

【効能効果】 がん性皮膚潰瘍部位の殺菌・臭気の軽減、酒さ

③臨時採用(患者限定使用)

抗悪性腫瘍剤 抗 TROP-2 抗体トポイソメラーゼⅠ阻害剤複合体
トロデルピ点滴静注用 200mg 187,195 円/瓶

【組成】 サシツズマブ ゴビテカン(遺伝子組換え)注)200mg

【効能効果】 化学療法歴のあるホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌

深在性真菌症治療剤

ノクサフィル錠 100mg 2830.7 円/錠

【有効成分】 ポサコナゾール

2. 供給

●出荷調整

・ミオコールスプレー0.3 mg: 出荷前製品の一部に部分欠損認めたため、在庫消尽をもって一時出荷停止。

・エンレスト錠 50mg/100 mg : 一時的需要増加による出荷調整

●販売中止

・ジソピラミドリン酸塩徐放錠 150 mg「トロー」 : 2025 年 8 月頃

・パクリタキセル点滴静注液 100 mg「ホスピーラ」 : 2025 年 6 月頃

●出荷調整解除

・セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」

3. 採用変更 ※①-③:在庫消尽次第切り替え ④:在庫消尽次第終了

①内服 該当なし

②注射

[後発→後発への変更]

- ・メコバラミン注射液 500 μ g「トーフ」→「イセイ」
- ・ザルソロイチン静注 20ml (59 円/管)→ カシワドル静注 (78 円/管)
- ・パクリタキセル点滴静注液 100 mg「ホスピーラ」(2416 円/瓶)→「NK」(5241 円/瓶)

③外用 該当なし

④院内採用終了（在庫消尽次第採用終了）

- ・アーテン錠 2 mg :破棄歴あり、神経内科確認済
- ・アルト原末 :硝酸銀で対応可能と婦人科医確認済
- ・エルサメット配合錠 :同効薬複数採用、泌尿器科確認済
- ・オルダミン注射用 1g :現在使用診療科なし、消化器外科確認済
- ・カペシタビン錠 300 mg「日医工」:院内では使用なし、消化器外科確認済
- ・ガベキサートメシル酸塩注射用 500 mg「タカタ」:使用なし、心臓血管外科確認済
- ・ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50 mg/5ml :毎年破棄あり、整形確認済
- ・コントミン筋注 25 mg :破棄歴あり、近年使用歴なし、神経内科確認済
- ・サイトテック錠 100 :年間使用極少、破棄歴あり、使用医師確認済
- ・タンボコール静注 50 mg :2 年間使用なし、循環器内科・心臓血管外科確認済
- ・デトキソール静注液 2g :現在使用診療科なし、消化器外科確認済
- ・ドネベジル塩酸塩 OD 錠 10mg「ケミファ」:3→2 規格採用へ。脳神経外科確認済
- ・フルオロメトロン点眼液 0.02% :0.1%製剤あり、眼科確認済
- ・ベリキューボ錠 5 mg :2.5 mg錠あり、当院 5 mg使用患者極少 循環器内科確認済
- ・ボグリボース OD 錠 0.2 mg :年間使用極少、0.3 mg錠で対応可能、糖尿病内科医確認済
- ・ユーエフティ配合カプセル T100 :院内では使用なし、消化器外科確認済
- ・レナジェル錠 250 mg :2024 年使用極少、期限切れ発生。腎臓内科確認済

4. 添付文書改訂

トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス

● 11.1 重大な副作用 追加

11.1.7 肝機能障害(頻度不明)

ジオン注無痛化剤付、生食液付（一般名:硫酸アルミニウムカリウム水和物・タンニン酸）

● 9.特定の背景を有する患者に関する注意 追加

9.1.3 前立腺等の骨盤内癌に放射線治療歴のある患者

放射線治療歴及び放射線直腸炎による直腸粘膜障害の程度を確認し、投与の必要性を検討すること。
前立腺等の骨盤内癌への放射線治療により、放射線直腸炎や強い線維化を生じている可能性があり、
本剤の投与により、難治性潰瘍や重篤な直腸狭窄を生じるおそれがある。また、重篤な直腸狭窄を発現し、
人工肛門が造設され、排便困難や便失禁のリスクから人工肛門の閉鎖が困難となった症例が報告されている。(8.4.7、8.7、11.1.3、11.1.4 参照)

トラゾドン塩酸塩錠 25mg,50mg「アメル」

● 10.相互作用 追記

10.2 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
抗凝固薬 ワルファリンカリウム、リバーロキサバン、ダビガトランエテキシラー トメタンスルホン酸塩等 抗血小板薬 アスピリン、クロピドグレル硫酸塩等 非ステロイド性抗炎症薬 (9.1.8 参照)	出血傾向の増強を伴う 血液凝固能の変動がみ られたとの報告がある。	セロトニン依存性 の血小板凝集経路 を阻害する可能性 がある。

5. 添付資料

院内採用薬の供給停止・出荷調整薬について(2025 年 3 月 28 日更新)

医療安全情報 No.220 「2024 年に提供した医療安全情報」

DSU No.334